

2-11

ボランティアエフェクト!

(ボランティア効果)

地域ネットワーク

ボランティア

特別養護老人ホーム 吉祥寺ナーシングホーム

発表者：介護職員 茂田 順由

共同研究者：介護職員 山縣 和博

所在地：東京都武蔵野市吉祥寺北町 2-9-2

TEL：0422-20-0869

E-mail : kijshigeta@kichijoji-home.com

FAX：0422-20-0806

URL : <http://www.kichijoji-home.com/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人至誠学舎東京を母体とし平成6年12月より事業を開始しています。
入所50名、短期入所3名の施設です。デイサービスセンター、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所が併設されています。

〈取り組んだ課題〉

- 職員では足りない利用者への対応、関わり。
- ボランティア活動の拡大
- 現場職員とボランティアの直接的コミュニケーション不足。

〈具体的な取り組み〉

- 職員
 - ・ ボランティアの要望があれば専任のボランティアコーディネーターに活動内容や日時などの情報と共に依頼をする。
- ボランティア
 - ・ 利用者(特に認知症があり落ち着きのない時など)に対してマンツーマンの対応をしてもらう。
 - ・ レクリエーションに参加し積極的に利用者と関わる。
 - ・ 毎週の書道や塗り絵などのアクティビティ活動の時に継続的にボランティアに来てもらう。
 - ・ 直接は関わらないがエプロン、おしぶりたたみ、お茶の配膳、シーツ交換などのサポートをする。
 - ・ 誕生会などの行事の時に余興などをお願いし会の手伝いをする。

〈活動の成果と評価〉

- ボランティアが利用者に与える効果。
 - ・ 個別の対応をすることにより利用者のペースで生活できる。利用者の尊厳の確保。
- ボランティア活動をする事での効果。
 - ・ ボランティア参加者の社会参加、自己実現、生きがいに繋がる。
- ボランティアが職員に与える効果。
 - ・ 利用者の対応を任せることで提供するサービスの質が向上する。
 - ・ 第三者の目が入るために公益事業の透明性の確保に繋がる。

〈今後の課題〉

- ボランティア活動の継続性
 - ・ 利用者との信頼関係の構築
 - ・ 職員との信頼関係の構築
- 新しいボランティアの獲得
 - ・ 広報、宣伝活動
- ボランティアの能力や質の向上
 - ・ ボランティアへのフォロー
- コーディネーターの重要性

【メモ欄】